

2026年4月22日

各 位



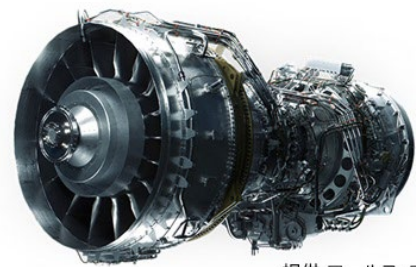
## 新東亜交易、豪州次期汎用フリゲート用のエンジン3台を受注

豪州政府と三菱重工業(株)は豪州の次期汎用フリゲート（General Purpose Frigate、以下「GPF」）プログラムにおいて、「もがみ型護衛艦の能力向上型」3隻の建造契約を締結し、兼松株式会社のグループ会社である新東亜交易株式会社は、同艦向け推進システムを提供する川崎重工業(株)よりロールス・ロイス MT30 型エンジン3台を受注しました。

豪州政府は GPF を 11 隻導入する計画であり、三菱重工業(株)との契約はこのうち最初の 3 隻を日本国内にて建造するもので、1 番艦は 2029 年 12 月に豪州側に引き渡されます。4 隻目以降は、西豪パース近郊のヘンダーソン造船所にて現地建造されることが予定されています。



豪州次期汎用フリゲートのイメージ



MT30 型エンジン

以上

【お問い合わせ先】

兼松株式会社 広報室

電話 : 03-6747-5000 <https://www.kanematsu.co.jp/inquiry/>